

# 広島県感染症発生動向月報

[ 広島県感染症予防研究調査会 ]

(平成27年12月解析分)

## 1 今月のトピックス

### (1) 感染症胃腸炎の流行状況について

**感染性胃腸炎警報発令中!!**

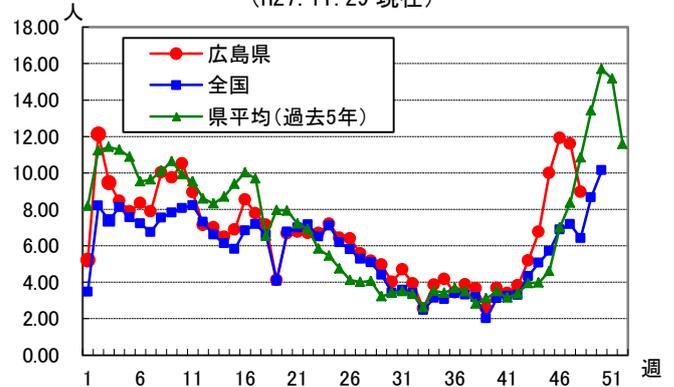
感染性胃腸炎の流行が本格的になったと考えられるため、平成27年11月19日、県内に「感染性胃腸炎警報」を発令しました。

感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌などを原因として、下痢や嘔吐などの症状が出る感染症で、これからの時期は、ノロウイルスやロタウイルスによるものが増加します。

特に、2014/2015年シーズンのノロウイルスを原因とする食中毒などでは、これまで検出例の少ない遺伝子型のノロウイルス(GII.17)が検出されており、注意が必要です。

集団感染が起きやすい高齢者施設、保育所や幼稚園などでは、感染の予防及び拡大防止を徹底するとともに、感染症または食中毒が疑われる事案が発生した場合は、速やかに保健所に連絡するようお願いします。

感染性胃腸炎 定点医療機関当たり患者数  
(H27.11.29現在)



### 【参考】「感染性胃腸炎」に関するホームページ

- 「感染性胃腸炎の流行状況」(広島県)
- 「ノロウイルスに関するQ&A」(厚生労働省)
- 「ノロウイルス対策用消毒液の作り方」(広島県)
- 「適切な手洗い」(厚生労働省)
- 保育所における感染症対策ガイドライン(2012年改訂版)
- 高齢者介護施設における感染対策マニュアル



(例) 感染性胃腸炎 流行状況 広島県

検索

左記のワードで検索してください!!

### (2) 「RSウイルス感染症」の流行に注意しましょう!!

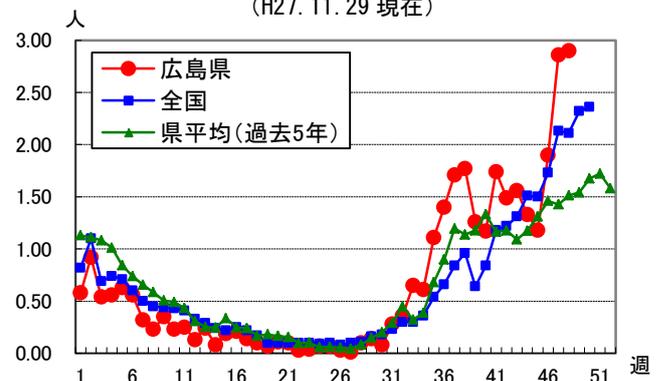
RSウイルス感染症は、例年11月から3月にかけて乳幼児を中心に流行する感染症です。

県内では、11月に入り、報告患者数に急激な増加が見られ、過去5年平均を上回る状況が続いています。

主な症状は、発熱、鼻汁など、かぜに似た症状で、多くの場合、軽症で治ります。しかし、初めて感染発症した場合は、症状が重くなりやすいと言われており、生後3か月以内の乳児や、基礎疾患を有する小児への感染には特に注意が必要です。

マスクの着用や、手洗い、うがいを励行し、感染予防に努めましょう。

RSウイルス 定点医療機関当たり患者数  
(H27.11.29現在)



## 2 疾患別定点情報 【速報値】

### (1) 定点把握(週報)五類感染症

平成27年11月分(平成27年11月2日～平成27年12月6日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	131	0.23	0.16	↑	11	ヘルパンギーナ	31	0.09	0.06	↓
2	RSウイルス感染症	810	2.25	1.36	↑	12	流行性耳下腺炎	423	1.18	0.68	→
3	咽頭結膜熱	126	0.35	0.63	↑	13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	975	2.71	1.44	↑	14	流行性角結膜炎	112	1.18	0.88	↑
5	感染性胃腸炎	3,707	10.30	6.93	↑	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
6	水痘	133	0.37	1.49	↑	16	無菌性髄膜炎	2	0.02	0.03	
7	手足口病	233	0.65	0.48	↓	17	マイコプラズマ肺炎	51	0.49	0.26	↑
8	伝染性紅斑	350	0.97	0.08	↑	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	138	0.38	0.53	→	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5	0.05	—	
10	百日咳	15	0.04	0.06	↑						

### (2) 定点把握(月報)五類感染症

平成27年11月分(11月1日～11月30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	53	2.30	2.14	→	24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	81	3.86	5.32	↑
21	性器ヘルペスウイルス感染症	16	0.70	0.74	↓	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	4	0.19	1.15	
22	尖圭コンジローマ	8	0.35	0.69	↓	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.07	
23	淋菌感染症	19	0.83	0.99	↑						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

#### 急増減疾患!!(定点当たり前比2倍以上増減)

- 急増疾患 感染性胃腸炎 (4.79 → 10.30)
- 急増疾患 伝染性紅斑 (0.41 → 0.97)
- 急減疾患 手足口病 (1.30 → 0.65)

#### 発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↑	↓	1:1.5～2の増減
微増減	↑	↓	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患,月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	72	19	23	21	178

## 3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	29	結核(29)〔西部保健所(2),西部東保健所(1),東部保健所(4),広島市保健所(11),呉市保健所(6),福山市保健所(5)〕
三類	0	発生なし
四類	18	A型肝炎(1)〔広島市保健所(1)〕, つつが虫病(13)〔西部保健所(4),西部東保健所(1),東部保健所(2),広島市保健所(6)〕, レジオネラ症(2)〔西部保健所(1),福山市保健所(1)〕, Dengue熱(1)〔広島市保健所(1)〕, 重症熱性血小板減少症候群(1)〔広島市保健所(1)〕
五類全数	21	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(4)〔東部保健所(1),広島市保健所(1),呉市保健所(1),福山市保健所(1)〕, 急性脳炎(2)〔広島市保健所(1),東部保健所(1)〕, 後天性免疫不全症候群(4)〔西部保健所(1),広島市保健所(2),福山市保健所(1)〕, 侵襲性肺炎球菌感染症(4)〔西部保健所(1),北部保健所(2),広島市保健所(1)〕, 梅毒(6)〔広島市保健所(5),呉市保健所(1)〕,薬剤耐性アシネトバクター感染症(1)〔広島市保健所(1)〕